

# わくわく

# ミッドマー

2026年5月～8月

昭和100年  
映像で  
学ぼう!



会場

富山県教育文化会館  
5階ハイビジョン学習室

第2土曜日 10:00～・13:30～

第3水曜日 13:30～

5月

9日(土)

20日(水)

上映時間：113分

- 1300年を超えるあゆみ 修験道今昔
- 日本の天下統一 ～信長・秀吉・家康～
- 平成古寺巡礼の旅「延暦寺」
- 後世に伝えたい文化遺産 珠玉の仏教美術  
「天下人の造形 桃山時代」



6月

13日(土)

17日(水)

上映時間：90分

- 丹下ウメ 道もなき道ふみ分けて
- 猿橋勝子 女性科学者のパイオニア
- 科学技術立国への歩み ー日本の科学技術50年ー
- 放射性物質の光と影 人体の影響は?生活の影響は?

7月

11日(土)

15日(水)

上映時間：90分

- 水とたたかった戦国の武将たち「信玄堤」のおはなし
- 川紀行「常願寺川～急流荒廃河川への挑戦～」
- 越中人譚 時代の冒険者たち  
「富山発展の基盤をつくった心」  
【金岡又左衛門、山田昌作、竹平政太郎】

8月

8日(土)

19日(水)

上映時間：130分

- ある町の高い煙突 (邦画)

原作：新田次郎

出演：井手麻渡、渡辺大、小島梨里杏、大和田伸也、吉川晃司、仲代達矢 ほか

●開場は上映時間の30分前です。

●作品の詳細、ご来場の皆さまへのお願いは裏面をご覧ください。

【問合わせ先】

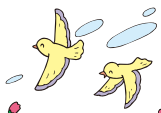
富山県映像センター (富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課)

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 (富山県教育文化会館3階)

TEL：076-441-8455 (休所日：火曜日、祝日・振替休日の翌日)

●天候不良などにより中止になった場合は、  
映像センターホームページまたは公式Xでお知らせします。





2026年度

# わくわくシアター上映案内 5月～8月

## 5月

9日(土)  
20日(水)



### ■1300年を超えるあゆみ 修験道今昔

日本独自の宗教形態「修験道」。平安時代の末には、各地の霊山の山伏たちが集団を形成し、その信仰は日本全土に広がった。京都、奈良にある三つの総本山と大峯山寺を守護とする5つの護持院を紹介するとともに、今も民間信仰の中に息づく「修験道」信仰の活動を記録。(28分・2011年)

### ■社会科映像資料館「日本の天下統一～信長・秀吉・家康～」

天下統一という大事業に向かって、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康は何を考え、どんな戦略をとったのか。天下無敵といわれた武田騎馬軍団に立ち向かった信長の鉄砲隊。日本全国にわたって実施した秀吉の太閤検地。諸国の大名たちを支配した家康の武家諸法度など、日本の全国統治を成功させた戦略や施策を、分かりやすく紹介。(30分・1996年)

### ■平成古寺巡礼の旅「延暦寺」

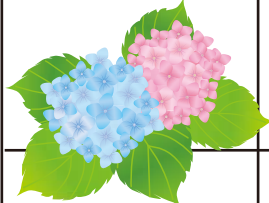
延暦寺は788年、最澄によって国の平和を守る道場として開かれ、日本仏教の各宗の祖師をはじめ、一隅を照らす多くの人材を輩出してきた。根本中堂には最澄によって灯された法灯が、その「祈りと教え」の象徴として灯り続けている。(10分・1998年)

### ■後世に伝えたい文化遺産 珠玉の仏教美術「天下人の造形 桃山時代」

戦国から安土桃山時代へ、下剋上と群雄割拠の乱世の中から英雄が登場し、天下統一を成し遂げる。天下人は気宇壮大な城をつくり、御用絵師に絢爛豪華な障壁画を描かせる。寺院は再興され、力をつけた町衆が独自の文化を形成する。仏教美術は桃山文化の多彩な美の中にあっただ。(45分・2005年)

## 6月

13日(土)  
17日(水)



### ■シリーズ女性科学者のパイオニア「映像評伝 丹下ウメ 道もなき道ふみ分けて」

女子の科学教育が存在していなかった明治期、丹下ウメは幸運にも成瀬仁蔵、長井長義に見出された。それでも女子帝大生第一号として東北大をでたのが44歳、アメリカに留学し学位を得たのは54歳。帰国後、理化学研究所で研究を続け、13年間に23篇の論文を発表。生涯をかけて道なき道を踏み分けたのである。(14分・2005年)

### ■日本を変えた女性たち「猿橋勝子 女性科学者のパイオニア」

女子の進学率が低かった時代、学問の夢を一度は断念して就職した後、帝国女子理学専門学校に進学。1954年太平洋ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験がもたらした放射性降下物資“死の灰”の分析で世界的に評価された。退職後、女性科学者を表彰する猿橋賞を創設し、女性科学者を支援。活躍の道を切り開いた。(20分・2018年)

### ■科学技術立国への歩み -日本の科学技術50年-

終戦の焼け野原から今日の日本の繁栄を誰も予想だにしなかったことであろう。豊富なニュースフィルムや産業技術映画を駆使して、その歴史に迫り、戦後の科学技術の進歩を辿っていく。(30分・1994年)

### ■放射性物質の光と影 人体の影響は?生活の影響は?

放射線は恐ろしいとのイメージが強いが、病気の発見やがん治療に欠かせない側面もある。放射線や放射能に関する正しい知識をもって、噂や風評に流されないよう的確な判断力を持つ必要がある。(26分・2011年)



## 7月

11日(土)  
15日(水)

### ■私たちの暮らしと土木シリーズ「水とたたかった戦国の武将たち『信玄堤』のおはなし」

今から、460年ほど前、甲斐の国(現在の山梨県)では、たび重なる大洪水に悩まされていた。山に囲まれたこの地では山に降った雨が川に注いで暴れ川となり、甲府盆地を何度も水の中に沈めてきた。この地を治めていた甲斐の領主・武田信玄は、自ら多くの土木工事を行い、中でも「信玄堤」をつくった土木技術は今も受け継がれている。(20分・2001年)

### ■川紀行「常願寺川～急流荒廃河川への挑戦～」

古くから洪水や土石流によって富山平野に甚大な被害を与え恐れられていた川があった。流域に住む人々は常に川が静かでありたいと願いを込めて常願寺川と命名したと言われている。その常願寺川を歴史とともに紹介。(20分・1995年)

### ■越中人譚 時代の冒険者たち

#### 「富山発展の基盤をつくった心 [金岡又左衛門、山田昌作、竹平政太郎]」

豊富な水を利用し水力発電に乗り出し、北陸で初めて電気を灯した金岡又左衛門。金岡の後継者として、安い電力を武器に企業を誘致した山田昌作。大量の電力を必要とするアルミを富山に根付かせ、一大地場産業に育て上げた竹平政太郎。明治から昭和にかけて富山の発展に多大な貢献を果たした3人の男たちを紹介。(50分・2008年)

## 8月

8日(土)  
19日(水)

### ■ある町の高い煙突

1910年茨城県日立市。急増する銅の需要に応えるべく発展を続ける日立鉱山は、排出する煙に苦慮していた。地元の緑美しい山々は荒れ果て、廃村の危機を迎えていた。怒りに震える住民たちとの補償交渉もままならない中、村の若き代表者・関根三郎は、鉱山側の窓口である青年・加屋純平と協力して解決策を模索。その熱意はカリスマ経営者・木原吉之助と国をも動かし、やがて無謀とも言われた世界一高い大煙突建設の夢へとつながっていく…。

実話を描いた文豪・新田次郎の小説を映画化。(130分・2019年)

原作：新田次郎 監督：松村克弥 出演：井手麻渡、渡辺大、小島梨里杏、大和田伸也、吉川晃司、仲代達矢 ほか

※上映作品は都合により変更する場合があります。

## ご来場の皆様へのお願い

- 会場内での食事は禁止です。水分補給は可能です。ただし、蓋つきの飲み物(水筒、ペットボトルなど)に限ります。
- 上映中も換気扇を回し、空気を循環させます。(入口の扉を開放する場合があります)
- 会場の収容人数(約60名)を超える場合は、入場制限させていただきます。
- 駐車場には限りがあります。近隣の有料駐車場をご利用ください。(割引券などはありません)
- 天候不良などにより中止になった場合は、映像センターホームページまたは公式Xでお知らせします。



映像センター  
公式X



お問い合わせ

富山県映像センター(富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課)

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1(富山県教育文化会館3階)

TEL 076-441-8455 <https://www.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>